



講師  
紹介

## 尾崎 真理子（おざき・まりこ）

1959年、宮崎市生まれ。宮崎日日新聞記者だった父の転勤で西都市、高鍋町、日向市などで小学生時代を過ごす。宮崎大学附属中学校、県立宮崎西高校を経て、青山学院大学文学部史学科卒業。1982年に読売新聞東京本社に入社後、92年から文化部で文芸担当として月評や作家のインタビュー記事を書き、約20本の連載小説を手掛ける。2011年から同社編集委員となり、読売新聞日曜書評面等に執筆している。著書に『現代日本の小説』（ちくまプリマー新書）、『瀬戸内寂聴に聞く寂聴文学史』（中央公論新社）、『大江健三郎、作家自身を語る』（聞き手、構成 新潮文庫）。今年6月末、『ひみつの王国 評伝石井桃子』（新潮社）を刊行。東京都調布市在住。



### 第1分科会



講師 鶴ヶ野 勉（文芸誌「しゃりんばい」の編集委員）

テーマ 実話と虚構の間 —終戦前後の南九州—

### 第2分科会



講師 藤崎 正二（文芸誌「しゃりんばい」の編集委員）

テーマ 自分を書く、生活を書く

### 第3分科会



講師 東口 誠（文芸誌「しゃりんばい」の編集委員）

テーマ 宮崎の歌人松田松雄の歌を味わう

### 第4分科会



講師 渡部 昭波

テーマ 俳句に季語は必要か？（季語について皆で考えましょう）

### \*宮崎県教職員互助会\*

宮崎県教職員互助会は、県内の公立学校・教育関係団体に勤務する教職員等及びその退職者で構成された団体で、会員とその家族の福利厚生事業を推進するとともに、本県の教育及び文化・芸術・スポーツの振興・発展に寄与することを目的に、県民の皆さんを対象に公益文化事業を行っています。